

講義名	職業指導/職業指導			授業形態	
担当教員	川合 宏之	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

職業指導とは職業に就こうとする生徒に対して、職業選択や職業適性に關する支援を行う教育活動である。しかし、それは、単に就職指導・進学指導に限定されるものではなく、それぞれの生徒の自己実現に向けて、人間としてのあり方や生き方を考えさせるものでなければならない。このために、高等学校における教育活動全体を通して、計画的・組織的・系統的に指導する必要がある。本授業では、職業指導の沿革を理解するとともに、主体的に職業を選択する能力を培い、望ましい職業観、勤労観を育成するための今日的な諸課題について、学校における職業指導のあり方を踏まえて、理論と実践の両面から検討する。

到達目標

専門高校の教員として、生徒のよりよい社会的自己実現に向けて、人間としてのあり方、生き方を探求する職業指導について、高等学校における教育活動の全体を通して、組織的計画的に推進するために必要とされる一般的知識を深め、具体的な技能について活用できるようになる。

提出課題

授業時に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・演習・課題レポートについては、評価し採番の中で返却するとともに、要点や模範解答について解説する。
- ・返却しないものについても授業の中で模範解答の解説と講評を行う。

評価の基準

演習・課題レポート（60%）、毎時の授業への参加度・積極性（40%）により総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は、教職課程の高一種（商業）免許の教科に関する科目「職業指導」の必修科目である。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.新時代のキャリア教育と職業指導：免許法改定に対応して。	佐藤史人・伊藤一雄・佐々木英一・堀内達夫	法律文化社	2420	978458903953
.学生・教員・研究者に役立つ進路指導・キャリア教育論 教育社会学の観点から	望月由起	学文社	2420	9784761926892
.中学校・高等学校キャリア教育の手引き。	文部科学省	実業之日本社	2750	9784408416

その他

- ・中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（答申）
- ・文部科学省「高等学校学習指導要領解説商業編」
- ・産業教育振興中央会編「高等学校産業教育ハンドブック：産業教育・職業教育の充実と理解のために」（実教出版）
- ・産業教育振興中央会編「月刊 職業と教育」（実教出版）
- ・公益財団法人日本進路指導協会「進路指導」
- ・進路アドバイザーのための基礎知識2023年度（大学新聞社）

その他、必要に応じて授業で紹介する。

授業計画

- 第1回：職業指導の意義と目的
- 第2回：職業指導の沿革（アメリカ）
- 第3回：職業指導の沿革（日本）
- 第4回：職業指導の基礎理論（職業選択理論）
- 第5回：職業指導の基礎理論（職業適応理論・発達理論）
- 第6回：産業社会構造・雇用意識の変化と職業指導（モラトリアム化社会の問題点）
- 第7回：産業社会構造・雇用意識の変化と職業指導（フリーター・ニートの問題点）
- 第8回：進路決定と適応についての今日的課題
- 第9回：職業観と高校生の離職の問題点・中退生の問題点（勤労観、職業観と教育課程）
- 第10回：職業指導と教育課程
- 第11回：職業保障
- 第12回：職業指導の実務
- 第13回：職業観の形成
- 第14回：諸外国の職業指導
- 第15回：職業指導の計画

（注）項目や順序を入れ替えることがある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：「授業内容」に示された自分のテーマに関して、図書館の書籍やインターネットを用いて調べておくこと。（2時間）
- 復習：授業中に配布された資料に関しては、授業後に再度読み、復習しておくこと。（2時間）
- 課題：宿題としてレポート提出が課された場合は、次の授業で提出できるような状態に仕上げてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、学校における職業指導のあり方を踏まえて、理論と実践の両面から検討することによって、本学の教育の目標である「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成する。さらに、生徒の職業意識を高め、今後の職業指導についての実践的養育を身に付けることができる。また、本科目は、マーケティング学科のディプロマ・ポリシーに関連しており、マーケティング動向、流通業界及び関連業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけておくことは、商業科教員として必要な要素である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

大規模多人数同時参加型オンラインアンケートアプリを用いて理解度をチェックし、次回以降の授業の参考にする。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
元高等学校教諭の経験を活かし、学校現場での事例や実務上の留意点などを織り交ぜた講義を行う。

備考

日頃から職業と労働に関心をもって報道等に注意しておくこと。
学校教育における職業指導の展開について実践的な考察を深めること。